

事務事業評価表（平成28年度）

Header table with columns: 事業コード (1747), 課コード (0407), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including objectives, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple rows for different criteria like necessity, participation, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with options for status (e.g., 現状どおり推進) and a comment field.

事務事業評価表（平成28年度）

事業コード	2043	課コード	0407	会計種別	一般会計	予算の種類	■政策 ■経常 □なし
-------	------	------	------	------	------	-------	-------------

1. 事業の概要 (PLAN)											
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	起業・創業の支援		実施計画への位置づけ	○有 ○無		②部課名	環境経済部・企業立地推進課		
	③事業主体	●市 ○その他 ()			④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市					
	⑤事業期間	~			⑥担当職員数	4人 (換算人数)		0.4人			
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	5,346千円		当該(開始)年度	(当初)	8,706千円 (うち人件費 3,560千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)	
	⑧施策の位置づけ	施策コード	21401	重点プロジェクトへの位置づけ	重点2	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ	(計画名)	
(2) 目的	施策目的・展開方向	我孫子市企業立地方針に基づいた新たな企業の立地支援策や企業立地を支援する体制を整備して、まちに活力を生み出す産業振興を進めます。また、市内での多様な主体から生まれる起業や事業者による創業への相談体制の充実を図り、新たな産業の育成に努めます。			事業目的	新たに起業する方や事業者による創業を支援するための、相談体制や支援策を検討・実施することで、新たな産業の育成に努め、まちに活力を生み出す。					
(3) 事業内容	内容	市は、産業競争力強化法に基づき、平成26年6月20日に国（経済産業省・総務省・農林水産省）の「創業支援事業計画（平成26年度～28年度）」の認定を受け、平成26年度からNPO法人や民間企業と連携し、起業・創業者向けの相談窓口の設置をはじめ、シンポジウムや創業塾などの各種支援策を実施していく。			当該年度執行計画	我孫子市創業支援事業計画の実施 過年度：ワンストップ相談窓口、創業資金融資制度の運用、創業フォローアップ 年1回：第4回我孫子市起業・創業シンポジウムの開催、創業塾 創業支援補助金制度の運用					
		当該年度活動結果指標	起業・創業した件数	単位	件	想定値	9		実績値		
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値	
当該(開始)年度	支援策の実施により起業・創業を促す。				直接	起業・創業した件数		件	0	9	
3年後	支援策の実施により起業・創業を促す。				直接	起業・創業した件数		件	0	19	
最終(概ね5年後)	支援策の実施により起業・創業を促す。				直接	起業・創業した件数		件	0	19	
(7) 事業実施上の課題と対応					代替案検討	○有 ○無					
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度			
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	
		●嘱託職員報酬・共済費	1,270	●嘱託職員報酬・共済費	1,400	●嘱託職員報酬・共済費	1,400	●嘱託職員報酬・共済費	1,400		
		*費用弁償	10	*費用弁償	7	*費用弁償	7	*費用弁償	7		
		*我孫子市創業支援事業計画の実施		*我孫子市創業支援事業計画の実施		*我孫子市創業支援事業計画の実施		*我孫子市創業支援事業計画の実施			
*関係機関協議	3人*3回*1,424円	*関係機関協議	3人*3回*1,424円	*関係機関協議	3人*3回*1,424円	*関係機関協議	3人*3回*1,424円				
*シンポジウム協議	3人*3回*1,100円	*シンポジウム協議	2人*2回*1,100円	*シンポジウム協議	2人*2回*1,100円	*シンポジウム協議	2人*2回*1,100円				
*講師報償費	160	*講師報償費	120	*講師報償費	120	*講師報償費	120				
*消耗品費	34	*消耗品費	18	*消耗品費	18	*消耗品費	18				
*印刷製本費	189	*印刷製本費	119	*印刷製本費	119	*印刷製本費	119				
*シンポジウム用お茶代		*シンポジウム用お茶代	2	*シンポジウム用お茶代	2	*シンポジウム用お茶代	2				
*創業支援補助金制度	3,240	*創業支援補助金制度	3,240	*創業支援補助金制度	3,240	*創業支援補助金制度	3,240				
*創業塾運営負担金	222	*創業塾運営負担金	222	*創業塾運営負担金	222	*創業塾運営負担金	222				
予算(済)額	合計		1,686	合計	5,146	合計	5,146	合計	5,146		
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	50%	1,869	補助率	0%	0	
	県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	
	起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0	
	一般財源	合計		1,686	合計		3,277	合計		5,146	
その他の財源	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他		0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他		0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他		0		
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.4		0.4		0.4		0.4			
	正職員人件費	3,640		3,560		3,560		3,560			
	嘱託職員報酬額	1,280		1,400		1,400		1,400			
	臨時職員賃金額	0		0		0		0			
事業費(予算(済)額+正職員人件費)	5,326		8,706		8,706		8,706				
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	760.86千円/件		967.33千円/件								

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	新たに起業する方や事業者による創業を支援するための、相談体制や支援策を検討・実施することで、新たな産業の育成に努めまちに活力を生み出す。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他 ●②自治体である市が推進すべきである(理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる ■市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他		<その他の内容>		○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ○②市が主導で進めなければ実効性がなかった ○③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された ○④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した ○⑤サービス水準が確保された ○⑥サービスの安定供給基盤が確保された ○⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要
	●①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ○⑥その他 <その他の内容>		NPO法人等と連携し事業計画を策定した。				○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ○不要
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし。						○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		○要 ○不要
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a) (件)	目標値(b) (件)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	達成率(%)		○①目標値達成 ○②目標値未達成	
	0	9	□①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f) (件)	(f/b) × 100		<目標を達成した理由/未達成となった原因>	
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		事業費の削減対策について		○要 ○不要
	事業費(c) (千円)	事業費削減額(d) (千円)	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 □②現行体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 ■⑦その他 □④民間委託		実績値(g) (千円)	対事業費(%) (g/c) × 100		○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>	
	事業費削減率(%)		<削減の内容> シンポジウム運営費について、一般財団法人自治総合センターが実施する補助金制度を活用し充当予定。		<超過理由等>				
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>
	0.1	単位 費用単位 件 10万円	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	対目標値(%) (h/e) × 100			

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント				改善策及び展開方向					